

福井県坂井市小水力発電プロジェクト事業への支援決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下「機構」）は、小水力発電コンサルティング事業者である理創電力株式会社（所在地：福井県福井市 代表取締役：吉田裕則、以下「理創電力」）の計画する小水力発電プロジェクトへ40百万円の支援を実施し、また今般、当該小水力発電所が完成しましたので本事業についてお知らせします。

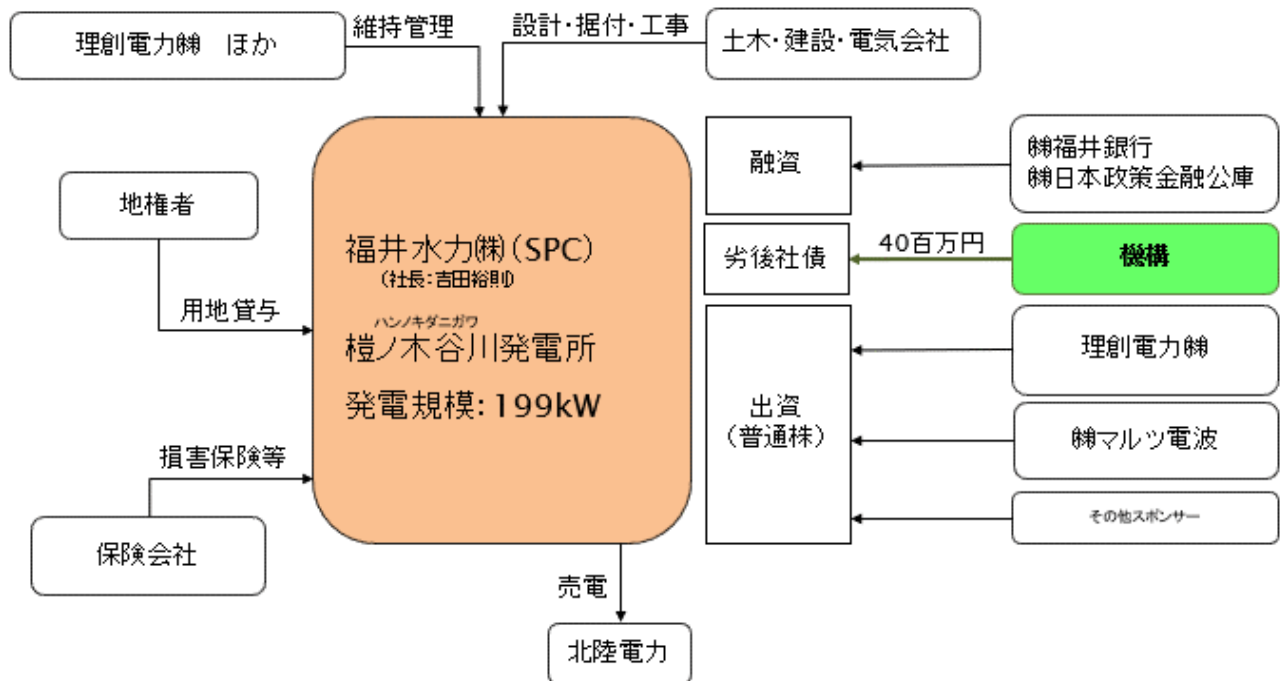
（※本件は、平成29年度に支援決定したものです。）

本事業は、福井県の1級河川である九頭竜川の支流、榎の木谷川（はんのきだにがわ）に立地する流れ込み式の小水力発電事業で、イタリア企業のIREM社製縦軸ペルトン水車を利用します。発電出力は199kWです。理創電力がメインスポンサーとなり、本事業を行う福井水力株式会社（SPC、以下「福井水力」）を設立しました。機構は福井水力の発行する劣後特約付無担保社債（以下劣後社債）を引受する形で支援いたしております。

本事業は小水力発電のポテンシャルの高い福井県で民間の小水力発電を促進させるために、先例事業として立ち上げるものです。

機構は本事業が、事業の収益に依拠した形で劣後社債の引受という、国内でほとんど例のない試みであることに鑑み、機構の支援が民間主導の中小水力発電事業への後押しとなり、中小水力発電の促進に貢献できると考え、支援決定したものです。

1. スキーム概要



(説明)

- ① 本プロジェクトは、小水力発電を得意とする理創電力を中心に、再生エネルギー事業も広く手掛けている株式会社マルツ電波（所在地：福井県福井市 代表取締役社長：土谷秀靖）が参画し、事業推進されました。機構は 40 百万円の劣後社債を引き受けました。
- ② 融資は、株式会社福井銀行（所在地：福井県福井市 取締役兼代表執行役頭取）および株式会社日本政策金融公庫が担いました。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 小水力発電において、事業の収益に依拠してファイナンスを組む例は、国内でほとんど例のない試みであり、本事業に機構が支援することで民間主導の中小水力発電事業への後押しとなることが期待されること。
- ② 本事業が計画される坂井市の竹田地区は、坂井市として重点的に地域活性化の支援をしている地域である。本事業が実現することで、地元自治体の地域活性化支援の注目度を少しでも高め、地域活性化の一助となること。
- ③ 本事業は地元の民間事業者が主体となって開発する小水力発電事業となるため、これを契機にポテンシャルの高い中小水力発電事業が広く促進されること。
- ④ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 673t-CO2/年を想定しています）。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
